

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学Ⅱ (呼吸器・循環器・腎・泌尿器)
講師名	小山 友香(20) 坂 孝太(9)	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	今後学ぶ他の科目の理解や将来の実務に必要な基礎知識を学びます。丸暗記に終始するのではなく、正しく理解して活用できる知識を身につけてください。		
目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を学ぶ 目標：1. 生活しているひとの、呼吸器、循環器、腎・泌尿器がどのような構造を持ち機能しているか理解する。 2. 疾病によって受ける構造と機能の変化の理解の土台となる正常な構造と機能を理解する。			
回	授 業 内 容		
1	1. 呼吸の構造	1) 咽頭・喉頭・気管・気管支の構造 2) 肺の構造	
2		3) 縦隔の構造 4) 肺と胸郭・胸腔・胸膜の関係 5) 横隔膜	
3	2. 呼吸の生理	1) 内呼吸と外呼吸 2) 呼吸システム	
4		3) ガス交換 5) 呼吸調節 6) 換気運動	
5	3. 心臓の構造と機能	1) 心臓の構造 2) 刺激伝導系と心臓の電気活動	
6		3) 心臓のポンプ作用 4) 心臓機能の適応性	
7	4. 血管の構造と機能	1) 動脈および静脈の構造 2) 体循環と肺循環 3) 血液の循環力学	
8	5. リンパ系とリンパ管の構造と機能	1) リンパ管 2) リンパ節 3) リンパ組織	
9	6. 循環の調節	1) 自律神経系による調節	
10		2) 液性因子による調整	
11	7. 腎臓の構造と機能	1) 腎臓の位置・構造	
12		2) 腎臓の機能 (1) 糸球体と尿細管の機能	
		(2) 体液の量と組成の維持 (3) 内分泌臓器としての機能	
13	8. 尿管の構造と機能	1) 尿管の構造	
14	9. 膀胱の構造と機能	2) 膀胱の構造 3) 膀胱の機能 4) 尿意	
15(45分)	10. 尿道の構造と機能	1) 尿道の構造 2) 排尿	
16(45分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学		
参考図書	医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2]呼吸器		
	医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3]循環器		
	医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8]腎・泌尿器		
	医学書院：目で見るからだのメカニズム		
備考			